

## 第23回 日本MH大賞 選考結果

日本MH大賞には、MHシステム・機器に関するハード部門と情報システムに関するソフト部門があり、それぞれが研究開発と改善合理化にわかれます。

選考委員会では、応募された内容について、経済性・合理性・独創性・安全性・社会的貢献性・将来性などについて審査選考を行い、各部門で優秀賞を選出し、その中より「大賞」を更に選定致します。

4月27日に開かれました審査委員会では、応募者による口頭説明も参考にして慎重に審査選考を行いました結果、下記4件が受賞と決まりました。

日本MH大賞 審査委員長 高橋輝男

★ハード部門・研究開発では、「優秀賞」1件、「奨励賞」2件が受賞になりました。

### 1. ハード部門・研究開発「優秀賞」

【台車ストッパー“スペシャルブレーキ”】:株式会社ナンシン

勾配のある路面で、確実な制動力を保持する事を目的に開発された台車ストッパーです。従来の方式を上回る高い制動力と耐久性をもつとともに、ロックとロック解除を色違いのペダルを踏むだけで容易に切替えられ、さらに折りたたんで持ち運ぶ時の操作性を向上させるなど、実用性の高い製品になっています。価格も従来品と同等に抑え利用者が入手しやすいものに仕上がっている点も評価されました。

### 2. ハード部門・研究開発「奨励賞」

【検査コンベヤ/LEDバックライトコンベヤ】:オークラ輸送機株式会社

コンベヤにLEDバックライトを組み込み、製品に混入した異物や包装品の接着不良等の検査を可能にしました。専用の特殊なLEDを採用する事でムラのない均一な光面が得られとともに、検査目的にあわせて調光機能も備えています。アルミ製のコンベヤとLEDバックライトを組み合わせるアイデアで、省エネ・コンパクト・コストダウンを達成した点が評価されました。

### 3. ハード部門・研究開発「奨励賞」

【垂直搬送機における蓄電デバイス搭載型電気制御装置】:ホクショー株式会社

垂直搬送機の下降運転時に発生する再生エネルギーを利用して発電し、その電力を蓄電し再利用することを可能にしました。搬送機の上昇運転起動時に必要となるピーク電流をカットすることで大幅な省エネを図っています。大容量の蓄電デバイスと急速充・放電制御装置の開発により実用化されたもので、省電力の追求という時代の要求に応えたものという点が評価されました。

★ソフト部門・研究開発では、「優秀賞」1件が受賞となりました。

1. ソフト部門・研究開発「優秀賞」

【ワールドキーパー】: ユーピーアール株式会社

国際貨物輸送における、貨物の位置追跡をリアルタイムに行うシステムです。位置情報を取得するGPS受信機と携帯電話の国際ローミングサービスを利用して、位置情報が逐次報告されます。さらに加速度センサーや温度センサーも実装し、輸送中の衝撃や温度も感知して、異常発生時には自動的にEメールで通知をする事も可能にしています。グローバル化が進む国際貨物の監視を総合的に追跡できる点が評価されました。

